

実態調査報告書

テーマ : タイ国内でのブロックチェーン活用や電子決済を学ぶ
ゼミ名 : 原田 喜美枝ゼミ
調査日 : 2019年8月26日(月)
調査先 : クルンシイ銀行 (Krungsri Bank)
授業科目名 : 演習 I
参加学生数 : 3年6名

調査の趣旨(目的)

タイ国内の銀行で、ブロックチェーンを積極的にビジネスに活用しているクルンシイ銀行を訪問し、タイの銀行業務とブロックチェーンの活用について学び、同時に電子決済についても学んだ。クルンシイ銀行の2部署の方々、総勢4名の方々が講義をして下さり、その後質問に答えていただいた。午後1時半に訪問し、午後4時半に出るまでの3時間ほど、英語での講義と質問の時間でした。

調査結果

ゼミでの合宿中、我々は現金で主に決済していたが、タイの電子決済システムが非常に先進的であることを学んだ。QRコードでの決済や、Facebook Payなど、日本には導入されていない決済が普及していること、電子決済比率が日本より高いこと、ブロックチェーン技術を用いた保証状 (Letter of Guarantee) や国際送金の詳細がわかった。また、動画も用意してくださっていて、Facebook Payがどう稼働するのも具体的に理解できた。非常に実りある調査だった。

